

水天子



よこちゃん

横内市民センターだより

発行 青森市横内市民センター
〒030-0132 青森市横内字亀井 28-2

TEL 017-738-8723

FAX 017-738-8726



講座レポート1

地域ねぶた復活を応援！横内ねぶた紙貼り体験 (9/10)

横内地区では、かつて「横内ねぶた」を運行していましたが、個人個人の負担や制作者の高齢化、資金や保存をどうするか等の様々な要因が重なり継続が難しくなり中断していました。そのような中で、今年、様々な条件が整ったことにより、横内ねぶた実行委員会が組織され、横内ねぶたを復活させる運びとなりました。

そこで、ねぶたの紙貼り体験をとおして、ねぶたづくりの楽しさや難しさを感じてもらおうとともに横内ねぶたの復活を応援することをねらいとして9月10日（土）、ねぶた師の立田龍宝さんを講師に、青森中央学院大学 7号館1階フリースペースを会場にして、小学生から高齢者まで12人が参加して地域力アップ講座が開催されました。

ねぶたの題材は、誰もが知っている「桃太郎」です。初めに立田さんから紙貼りのポイント（ボンドの付け方、紙の切り方、貼り方）を示しながらの説明がありました。いよいよ参加者の紙貼り体験です。立田さんは参加者の作業の進み具合に目配りしながら、たっぷりボンドを付ける、しっかりと貼り付ける、針金の外側5mmくらい残してカッターで紙を切る等のアドバイスを適宜行っていました。また、参加者からの質問に応じたり、必要に応じて個別に指導したりしていました。2時間では全部の紙貼りは終わりませんが、最後に参加者全員でねぶたを囲んで記念撮影をして終了しました。この後、紙貼りが終われば、「墨かき」、「ろうかき」「色付け」、「台上げ」の作業があり、完成には運行当日の9月25日ぎりぎりまでかかるという説明がありました。

25日、常福院で台上げされた横内ねぶたは、新城地区の地域ねぶたと共に、午後6時から横内地区を練り歩き、多くの住民が復活した横内ねぶたに歓声を上げていました。



【熱心に紙貼りをする参加者】



【運行する横内ねぶた】

市民センターから

清掃担当者の紹介

築年数約40年の当市民センター、古い建物ですが階段の隅っこにもほこりはありません。約350坪の建物や駐車場を、担当者2名が3時間(8時～11時)で清掃しています。

勤続10年、50代のKさんは朗らかなベテランさん！20代のSさんは素直でかわいい黙々さん(^_^)！

「夏は体育館の床が湿度で滑らなくなり、モップ掛けが重労働と化し、腕の筋肉が増えてシャツの袖が狭くなってしまいうけど、みなさんに気持ちよくご利用いただけるよう、キレイにできるところはキレイにしたい。汚れを落とすのが嬉しい！」と、清掃時の心掛けなどを話してくれました。手の動かし方、洗剤や道具を工夫して、時間制限のあるなか目に見える成果を上げる2人のおかげで、当センターの清潔は保たれています！



顔出しNGな2人(笑)

199人の犠牲者を出した八甲田雪中行軍遭難事件。1902年に起きた悲惨な遭難事件から今年はいよいよ120年となります。事件を象徴する場所として多くの市民に知られる後藤伍長の銅像ですが、昭和から平成、令和と時代の移り変わりとともに訪れる人は減少しています。そこで、事件を風化させないために、横内地区の住民のみならず広く市民に伝えていこうと、長年にわたってボランティアガイドとして雪中行軍について語り伝えている坂本則秀さんを講師に迎え、幸畑墓苑（八甲田山雪中行軍遭難資料館・幸畑陸軍墓地）と八甲田神社を見学する地域力アップ講座が10月1日（土）に開催されました。

参加者11人（男性6人、女性5人）は八甲田山雪中行軍遭難資料館の駐車場に集合し、坂本さんから講座の概要の説明を受けた後で、中に入りました。

まず、入ってすぐの所に、後藤伍長の銅像（レプリカ）があり、参加者は実物大のその大きさに圧倒されていました。全員でミニシアター「プロローグ白い八甲田」を視聴した後、館内の青森歩兵五連隊にまつわる様々な資料に目を通していました。

続いて、資料館を出ると、幸畑陸軍墓地です。坂本さんの解説を聞きながらの散策となりました。墓地正面に士官10名、左手に第五中隊と第六中隊95名、右手に第七中隊と第八中隊94名、計199名の墓標があるとの解説があり参加者はうなずきながら聞いていました。他の墓標の前でも同じように丁寧な解説がありました。

更に八甲田神社に移動し、全員で鳥居をくぐりました。拝殿や本殿の前で坂本さんの詳しい解説に聞き入っていました。

最初の場所に戻って講座終了となりましたが、その際、坂本さんから「アスパムの展望台から青森市をぐるっと360度眺めて、青森市の歴史を語る」という興味深い次回の企画が紹介されました。

今回の講座は、坂本さんのきめ細かな資料準備や丁寧で分かりやすい解説で、参加者の満足度の高い講座となりました。



【後藤伍長の銅像（レプリカ）を見る参加者】



お勧め講座のご案内！ (1～2月)

～ お菓子作り教室 ～ いちごのタルト

開催日：令和5年1月21日（土）
10:00～13:00
対象：18歳以上
講師：スイーツスペシャリスト 渡邊 初子
会場：1階調理室
定員：12名
参加費：2,000円
準備物：エプロン・三角巾
持ち帰り用器（30cm×30cm）
筆記用具



～ カワイイうさぎの つるし雛アレンジ ～

開催日：令和5年2月4日（土）
10:00～12:00
対象：18歳以上
講師：Atelier muguet 神 幸代
会場：2階大会議室
定員：10名
参加費：2,000円
準備物：持ち帰り袋
適宜換気をするので
寒くない服装で



編集後記 市民センターまつりが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年連続で今年も中止となりました。市民の皆様への学習成果の発表の場を紹介することができませんでした。来年度、市民センターまつりが開催できることを願っています。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164（内線36）
横内市民センター担当：須藤、横内